



女性の活躍が期待される消防団

の考え方は 高齢者や障害者への配慮は。

**答** 国では、高齢者が集まるとさまざまな話や活動を行うことなど介護予防拠点整備事業の目的、内容や年齢層を広くとらえており、スポーツや健康増進を中心とした活動を行いたい。車椅子等での参加は難しいが、急傾斜の階段部分を通らず、ただらかに行けるよう工夫していきたい。

**女性消防団員の登用を検討**

**問** 消防団の活性化と団員不足解消に向け、女性や社会人となった十八歳未満の年少者を団員に登用しては。

**答** 全国的にも女性消防団員

の登用が増加しており、本市でも消防団活性化推進委員会において、地域の実情に合わせ、女性の登用を前向きに検討している。また、年少者については、災害現場での活動が制限されているが、それ以外の地域の防災ボランティア活動等への参画は可能であり、今後検討したい。

**休日夜間の小児医療体制の強化を**

**問** 休日や夜間に救急病院に

小児患者が集中しないよう、休日夜間急患診療所の小児科診療時間を拡大しては。

**答** 医療スタッフの確保、需要と財政負担や他の充実策の有無等さまざまな観点から研究していきたい。また、保護者に救急医療の目的と小児医療に対する理解を深めてもらうことも大きな課題と考えており、より一層、休日夜間急患診療所のPRに努めていきたい。

**教育**



**通学区域の弾力化**

検討へ

**問** 子どもたちが自分の資質や目的に合った学校を選べるように、通学区域を弾力化しては。

**答** 子どもの個性や適性に応じた学校選択を可能にする通学区域の弾力化は、特色ある教育・学校づくりを推進する上で大きな意義があり、地域との協働や学校間の競い合いなどにつながる事が期待できる。平成14年度中に市教育行政審議会の専門委員会を設置し、市全域を対象に、どのような弾力化が可能か検討したい。

**絵本を通じて**

親子の心のふれあいを

**問** 絵本を介して親と子どもが心の交流を図るブックスタートに、市としてどう取り組むのか。

**答** いくつかの保育園では子どもへの本の読み聞かせを行っており、実践ができています。本市としては、一歳六カ月児検診や教育相談の際に読み聞かせの重要性を説明するとともに、親子手帳と一緒に配布する「育児のしおり」の改訂版にその意味を記載していく予定だ。

**学校給食の**

安全性確保に向けて



豊かな心を育む(番町保育園)

**問** 食品添加物やBSE(狂牛病)、食品の虚偽表示等が問題となっているが、学校給食の安全性確保に向けた取り組みは。

**答** 学校栄養職員による食品納入時の食材検収や農薬・食中毒菌等の検査、県・市学校給食会が原料構成や栄養分析等の資料に基づき厳選した食品を使用するなど、関係機関等と連携を取り情報収集に努めている。今後、保健所との連携により抜き打ちで衛生指導を行うなど、緊張感のある管理体制の整備に努め、安全性確保を図っていく。

**長期在職議員を表彰**

全国市議会議長会から、次の方々が表彰を受けました。

- 議員在職十五年以上表彰  
貝原信三郎氏 崎本 敏子氏
- 高津 利明氏 土肥 啓利氏
- 宮武 博氏
- 議員在職十年以上表彰  
佐々木清巳氏

**特別委員会を設置**

6月定例会最終日に、広域行政及び政令指定都市調査特別委員会を設置しました。

付議事件  
政令指定都市に関する研究調査

広域行政に関する研究調査 (定数十五人)

委員長	安井 聡
副委員長	近藤 昭
委員	田畑 賢司
委員	田尻 祐二
委員	藤井 義人
委員	田原 清正
委員	三木 亮治
委員	三宅 英夫
委員	亀井 章
委員	則武伸一郎
委員	井村 嘉久
委員	田口 裕士
委員	柴田 健二
委員	太田 正孝
委員	河合 和成